

至徳

射水市立金山小学校 学校だより

令和4年11月25日

第12号



花ウォークラリー

14日（月）、明るさいっぱい委員会主催の「花ウォークラリー」がありました。これは、15種の花のある所を回って、その花に関するクイズに答えるものです。例えば、「サルビアは何科でしょう」「マリーゴールドの開花時期はいつでしょう」「シダレ桜の名前の由来はどれでしょう」などの問題があり、子供たちはそれについてグループで相談して答えながら15のポイントを回ります。時間差を付けて花壇や畑、築山等を回り、花についての知識を深めていました。

今年度受賞した「みどりの奨励賞」は、このような草花や木々にふれ合う活動に取り組んでいることも評価されました。昨年度は「学校林ウォークラリー」を行い、今年度は「花ウォークラリー」。毎年少し趣向を変えて、恵まれたみどりに親しんでいます。



金山感謝の集い

18日（金）、金山感謝の集いを行いました。この催しは、子供たちが日頃お世話になっている地域の方に対し、感謝の気持ちを伝えたいとの思いから、企画し開催したものです。当日は、お忙しい中、34名の方が来てくださいました。

集会では、6年生の進行で、1・2年生がプレゼントを渡し、3年生がゲーム、4年生が演奏、5年生がダンスを行い、それぞれが感謝の気持ちを伝えていました。

楽しく豊かな学校生活というのは、安心・安全であるということが土台としてあり、その上に、「もっと知りたい、もっとやってみたい」ということがあって成り立つのだと思います。地域の皆さんは、「安心・安全」や「もっと知りたい、もっとやってみたい」の多くを担ってくださっています。登下校の時は、外に出て見守ってくださる。また110番の家として待機してくださる。下校した後は、こぼと学級で面倒を見てくださる。学習においては、ゲストティーチャーとして教えてくださる。姉妹校交流の際にもいろいろお世話をしてくださるなど、数えたらきりが無いほどたくさんお世話になっています。このようないろいろな面でお世話してくださることが、本校の教育活動の大きな支えとなっています。

再赴任して感じるのですが、12年前当時にお世話して下さっていた方で、今尚お世

話してくださっている方もいらっしゃいます。つまり、我が子が在籍しているししないないに関係なく、金山の子供たちを地域の宝として大切に育ててくださっているということだと思います。何とも有り難いことです。どうぞこれからも金山の子供たちのことをよろしくお願い致します。



くもくん教室

22日（火）、県警察本部少年女性安全課少年サポートセンターの方に来ていただき、「くもくん教室」を開催しました。この教室は、「体のどの部分も大切さ、特にプライベートゾーン（水着を着ると隠れる部分）の大切さを伝え、子供のうちから性的な『被害者』や『加害者』にもさせない」ことを目的としたものです。

サポートセンターの方からは、

- ・他人のプライベートゾーンを無理やり見たり触ったりしない。
- ・触られそうになったら、はっきりと「いや」と拒否する。
- ・いやな目に遭っている友達などを見つけたら助けてあげる。
- ・困ったときは大人に相談する。

ということに教えていただきました。

子供の性被害については、潜在化する傾向が指摘されています。子供たちがプライベートゾーンの重要性を知ることは、「自分を守る力」にもなります。子供たちが「被害者」にも「加害者」にもならないためのよい学習の機会でした。



資源回収

6日（日）に第2回資源回収を行いました。回数が一つ減ったこともあり、多くの資源が集まりました。

役員の方には、休日にも拘わらず、荷下ろしや整頓等の作業に取り組んでくださり、とても助かりました。ありがとうございました。

